

# 万葉の草木が薫りたつ 万葉香りの里づくり

## 《企画の目的》

浜松市浜北区にある万葉の森公園は、諸説に基づく万葉植物約 300 種を中心に万葉の森を創出し、あわせて万葉文学・万葉文化にも体験的に親しむことのできる施設です。万葉集には、ここ浜北区ゆかりの歌が 4 首あり、当時東国と呼ばれていた地域ではめずらしいといわれています。

しかし、花の咲く植物の本数が少ないためか、万葉という言葉が難しく感じるためか、市内にも、まだ万葉の森公園を訪れたことのない人がたくさんいます。新たに香りをテーマとした散策区域を創出することにより、より多くの人に万葉の森公園を知ってもらうためのきっかけづくりとします。

静岡県  
浜松市

浜北区平口  
万葉の森公園

万葉香りの里エリア



## 万葉植物が早春から秋まで次々と薫りたつエリアの創出



ウメ (万葉名:うめ)



ミツマタ (万葉名:さきくさ)



ハギ (万葉名:はぎ)



ツバキ (万葉名:つばき)



タチバナ (万葉名:たちばな)



ジンショウゲ (万葉名:さきくさ)



カツラ (万葉名:かつら)



スモモ (万葉名:すもも)



モモ (万葉名:もも)



ボケ (万葉名:あしび)



ヤマユリ (万葉名:ゆり)



ササユリ (万葉名:さきくさ)



フジバカマ (万葉名:ふじばかま)



樹名板

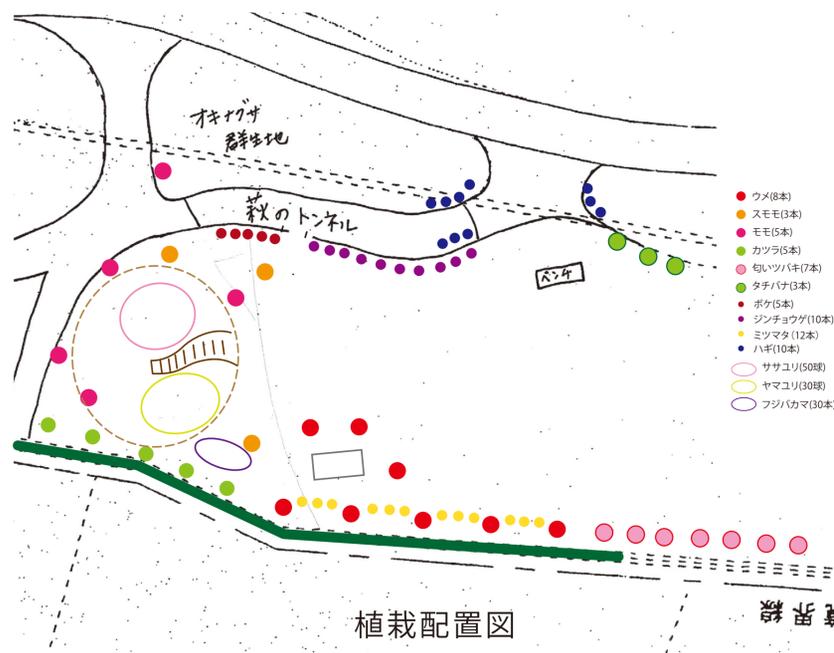
植物名とともに万葉名・万葉歌を紹介



現況



植栽後のイメージ



植栽配置図

## 《企画の効果》

万葉という難しく考えられがちなので、香りという視点から、万葉の森公園へ気軽に足を運んでもらい、万葉植物や万葉文化に触れることで、興味を持っていただき、地域文化の継承ができると考えています。

来園者の多くは、花の咲く植物を好むこともあり、より魅力のある公園とするために、花の植栽が少ない場所に香りのする花木を中心に植栽を行うことにより、香りのエリアとして新たな散策スペースを確立し、今まで万葉の森公園に足を運んだことのなかった人々にも興味を持ってもらえると考えます。

橘の にはへる香かも ほととぎす 鳴く夜の雨に うつろひぬらむ  
大伴家持